

【単年度事業評価様式】

旭区地域子育て支援拠点事業
令和4年度重点目標評価結果・令和5年度重点目標

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日(5年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人 子そだちしえん・あさひ 旭区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 旭区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に関わった運営 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和4年度重点目標の評価

令和4年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 本拠点とサテライトがそれぞれの特徴を活かして、妊娠期からさまざまな世代の親子に向けて切れ目のない支援をしていきます。 地域との連携を含め、子育て支援のネットワークを広げていきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ふれママふれパパ講座、母子保健コーディネーターとの連携。母子手帳交付時に拠点事業のチラシ配布。母親教室にて周知。 サロン交流会の開催。地域サロンに出張。区民祭りにて周知。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ふれママふれパパ講座は、本拠点12回開催、サテライト6回開催し、たくさんの妊婦が受講できた。 母子手帳交付時にチラシ配布1800部。地域サロンへの出張2回。 区民祭りでは、地域の子育て支援情報をクリアファイルに見やすくまとめ、周知することができた。 子育て支援連絡会の事務局となった。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で父親の仕事体制が変わったこともあり、土曜日だけでなく平日のふれママふれパパ講座の開催を求めている人もいる。専門相談員や助産師の理解を得ながら対応していきたい。

次年度重点目標

令和5年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 父親の育児参加のサポートをおすすめ、妊娠期からさまざまな世代の親子に向け切れ目のない支援をしていきます。 地域との連携を含め、誰でも参加できるような子育て支援のネットワークを広げていきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> パパの離乳食づくり講座。ふれママふれパパ講座 本拠点6回、サテライト6回。 パパDAY2回。母子手帳交付時にチラシ配布。母親教室にて周知。 サロン交流会の開催 ・区民祭りへの参加 子育て支援連絡会事務局 ・保育園、幼稚園との連携強化

3 協働のプロセスの評価

①事業計画段階

	区	拠点	相互評価
1 自分たちが達成すべき大きな目的や理念についてよく話し合うことができましたか。	B	A	B
2 お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A	A
3 お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	B	B	B
4 子育て家庭や子育て支援に関わる市民のニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めることができましたか。	B	A	B
5 目指す拠点の姿に近づくためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	B	A
6 この事業の実施目的・目標や事業計画について、ホームページや通信等を使って市民に発信することができましたか。	A	A	A

②事業実施段階

	区	拠点	相互評価
1 率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A	A
2 お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	A	A
3 相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	A	A
4 事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	A	A
5 必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A	A
6 事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	A	B
7 事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B	A

③事業の振り返り段階

	区	拠点	相互評価
1 協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できましたか。	B	A	B
2 子育て家庭や子育て支援に関わる市民が満足を得られたかどうかについて、アンケート調査や話し合いによって確認することができましたか。	B	A	B
3 これまでの取組経過を振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができましたか。	B	B	B

取組経過について振り返り、協働に必要な取組が出来ていたかを評価します。

評価基準

A よくできた B できた C あまりできなかった D まったくできなかった

別紙2 地域子育て支援拠点事業重点目標公表報告様式

旭 区

公表開始年月日	7月 1日(予定)
公表の媒体	拠点ホームページ

報告者	野田
TEL	954-6151